

令和7年度学校推薦型選抜

専門高校・農業関連学科推薦

小論文

農学部 森林科学科

令和6年11月30日（土）実施

10時00分～11時30分

開始前に以下の注意事項をよく読んでおくこと。

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけない。
2. 「受験番号」は、解答用紙と下書き用紙の受験番号欄に忘れずに記入すること。
3. この問題冊子には、2つの設問がある。
乱丁、落丁、印刷不鮮明の箇所があった場合には、申し出ること。
4. 解答は、必ず解答用紙の所定の解答欄に記入すること。
所定の欄以外に記入したものは、無効である。
5. 下書き用紙も提出すること。

次の問 1 と問 2 にすべて答えよ。

問 1 下の図 1 は、1990 年から 2020 年までの世界の森林面積の変化を示したものである。
この図のデータから読み取れる傾向について、400 字以内で説明せよ。

図 1 世界の森林面積の変化（1990-2020 年）（令和 5 年度森林・林業白書から引用）

この部分は、著作権の都合上、公開できません。

資料：FAO「世界森林資源評価2020」のデータに基づいて林野庁計画課作成。

問 2 地球サミット以降、森林や森林経営の持続可能性を客観的に把握するために、国際的な基準・指標の作成および評価に関する取組が進められている。下の表 1 は、日本が参加する「モントリオール・プロセス」の基準・指標を示している。この表の 7 つの基準から一つを選び、日本でそれをどの様に進めて行けば良いか、自分の考えを 400 字以内で述べよ。

表 1 モントリオール・プロセスの 7 基準・54 指標（2008 年）（令和 5 年度森林・林業白書から引用）

基 準	指標数	概 要
1 生物多様性の保全	9	森林生態系タイプごとの森林面積、森林に分布する自生種の数等
2 森林生態系の生産力の維持	5	木材生産に利用可能な森林の面積や蓄積、植林面積等
3 森林生態系の健全性と活力の維持	2	通常範囲を超えて病虫害・森林火災等の影響を受けた森林の面積等
4 土壌及び水資源の保全・維持	5	土壌や水資源の保全を目的に指定や管理がなされている森林の面積等
5 地球的炭素循環への寄与	3	森林生態系の炭素蓄積量、その動態変化等
6 長期的・多面的な社会・経済的便益の維持増進	20	林産物のリサイクルの比率、森林への投資額等
7 法的・制度的・経済的な枠組み	10	法律や政策的な枠組み、分野横断的な調整、モニタリングや評価の能力等

資料：林野庁ホームページ「森林・林業分野の国際的取組」